

## 総合的な学習の時間で活用する ～希望と勇気、克己と強い意志～

山陽小野田市立厚狭中学校 岡村 正志

### 1 本場面におけるポイント

- 道徳の授業を総合的な学習の時間や学級活動と横断的に関連させ、キャリア教育の充実を図ることで、将来の生き方や人としての在り方を感じさせる。

### 2 授業の実際

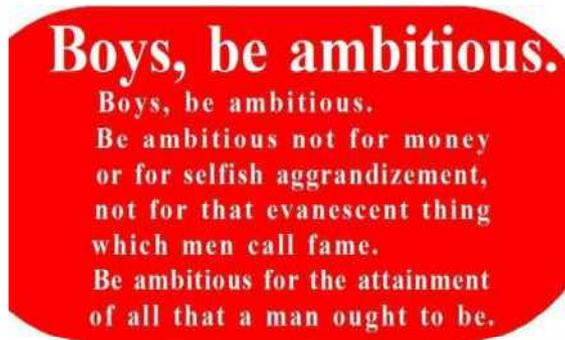
1 単元名 目標を目指し、やり抜く強い意志を

2 ねらい

「AFPY (アフピー)」の実践、「アンジェラ・アキ：心の遺伝子」の鑑賞、「私の未来履歴書／ライフサイクルプラン」の作成などの取組を振り返りながら、将来の自分のあるべき姿をイメージし、目標に向かって人生を切り拓いていこうとする、よりよい心情を育てる。

3 展開

(1) 導入 資料「Boys, be ambitious.」とは？



～ 教師の投げかけや発問 ～

夢を夢のままにせず、その実現に向かって努力することは、一生懸命に精一杯に生きていこうとすること、そのものです。そして、夢を実現しようとする時に、とても大切なことがあります。それは、最初の第一歩を踏み出す小さな勇気です。これまでの取組を振り返りながら、人が生きることについて考えてみましょう。



「私たちの道徳」 P16

《目標を目指しやり抜く強い意志を》

将来に向けて大きな夢をもつことはあなたの可能性を大きく引き出してくれるだろう。

そうした大きな夢の実現のために少し努力すれば手の届きそうな小さな目標の実現から始めてみよう。

(ウィリアム・スミス・クラーク)

□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

「私たちの道徳」の冒頭には、「自分を見つめ伸ばして」という題材が設定されている。それは、A主として自分自身に関する内容であり、「自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること」とある。

総合的な学習の時間や学級活動でのキャリア教育の実践をベースに、本誌の単元を深めることで、自己の生き方を見つめ、自分の特徴を多面的・多角的に捉えさせたい。

